

げんの和清 活動レポート



歴史ある町並みを 未来へ

金沢を代表する歴史的な町並み、「東山ひがし重要伝統的建造物群保存地区」の国選定二十周年式典に参加しました。貴重な景観を維持されてきた地域の皆さまのご苦勞に敬意を表すとともに、今後も金沢の歴史、文化の拠点となることを願う祝辞を代読しました。



官民連携でスポーツ文化の醸成を

金沢市を拠点とするサッカーチーム「FCサイバーステーション金沢U-15」様から、地元の鞍月広場へサッカーゴールが寄贈されました。感謝の気持ちで感謝状贈呈式に参加。スポーツに取り組む勇姿とチームワークを育む運営を拝見。地域と連携し、これからの飛躍を期待しています。



げんの和清 <メールアドレス> genno@m3.spacelan.ne.jp

市議会控室

〒920-8577 石川県金沢市広坂1丁目1-1
TEL 076-220-2406 FAX 076-233-8819

自宅

〒920-8217 石川県金沢市近岡町108-7
TEL 076-255-0899

知っておくと便利な
「お役立ち」情報

法テラス

いじめ相談

ねんきんダイヤル

法テラスコールセンター

いじめ相談ダイヤル

おなやみなし
☎0570-078374

なやみ言おう
☎0570-0-78310

☎0570-05-1165

令和3年 春号

げんの和清



市議会だより

▶ ホームページもご覧ください。

<http://www.komei.or.jp/km/kanazawa-genno-kazukiyo/>

▶ フェイスブックを始めました。

<https://www.facebook.com/GennoKazukiyo>

げんの和清

検索



● 第124代金沢市議会副議長に就任 ●

行政と市民をつなぐ 役割を果たす

令和2年度金沢市議会9月定例会月議会で、副議長選挙が行われ、第124代金沢市議会副議長に選出されました。

二代表制の一翼を担う議会の一般質問にて、これまでは質問者としての登壇でしたが、新たな役割を経験しました。

新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする課題も山積する中、議会の立場から、医療体制の強化、事業の継続、雇用の維持、生活の支援など、これまで以上に、市の施策のチェック、議会内の合意形成、行政と市民をつなぐ役割をしっかりと担っていきます。



新年度予算編成 山野市長に要望

所属する公明党金沢市議員会の一員としてこのほど、金沢市役所で山野之義市長に面談し、令和3年度予算編成について要望をしました。空き家の解体・利活用の関連助成制度の周知、就職氷河期世代を正規雇用へ転換した事業主への奨励金の拡充など83項目にわたって市の施策を進めるよう求めました。



▶ 山野市長(左)に要望書を手渡す=金沢市役所市長室



コロナ禍の暮らしと経済をささえる

市民のみなさまに寄り添う



オンラインで 若者の声聴く

対面でお会いする機会が制限される中、オンラインを利用して感染拡大による影響や課題をうかがいました。



子育て世帯の 経済的な負担を軽減

新生児への給付金やロタウイルス助成金が新たに支援対象に。妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援に向けて公明党金沢市議員会で悩みや相談をうかがいました。

クルーズターミナルで市政報告会

所属する公明党金沢総支部の大会が開かれ、来賓の太田昌孝衆議院議員、山野金沢市長、増江啓県議会議員も交えて、金沢市政の報告を行いました。



金沢港クルーズターミナル



太田衆議院議員

山野市長

増江県議

農林漁業の功労者に感謝

金沢市農林漁業功労賞贈呈式にて祝辞を代読。担い手不足や自然災害など農林漁業を取り巻く環境が厳しい中、真摯に自然に向き合う皆さまに感謝申し上げます。



もてなしドームの段差解消

金沢の玄関口となるJR金沢駅もてなしドーム。視覚障がいのある方や高齢者にとってつまづく危険性のある段差を解消してほしいとの声をいただき、整備しました。



金沢駅



対策前



対策後

▶ 見通しの悪い交差点の安全が確保されました。

ミラーとカラー舗装で事故防止

託児所関係者から、送迎の際に自転車や歩行者と何度も接触しそうになったとの声をいただき、現場を確認、担当課に調査を依頼し、ミラー設置するなど対応しました。

▶ コロナ克服へ安心と希望を届けたい ◀

昨年一年間、新型コロナウイルスの感染拡大が急速に広がり、金沢市内でもその影響は大きく、市民生活も自粛を余儀なくされる状況となりました。国、県、市で、感染症に関する各種支援制度が準備されたものの、制度の周知が十分行き届かず、市民の間に不安が募っている様子が見受けられました。

給付・貸付・融資などの支援制度を個人向け・事業者向けに整理し、支援制度を一覧表として作成し、国の緊急事態宣言解除直後に郵送させていただきました。さらに、オンラインミーティング

も開催し、学生・青年世代の方々から、暮らしの中での不安や切実な課題を伺い、行政や時に国会議員にも相談して解決に向けた糸口を手繰っていきました。全国の地方議員が連帯して、数多くのご相談からの声が集約され、学生支援緊急給付金や医療・介護・障がい福祉の慰労金など具体的な制度となって実現しました。引き続き感染拡大の抑制と社会・経済活動の回復に向けた取り組みに、しっかりと向き合って参ります。